

【令和4年度との比較】

資料の表記について		
4%以上の上昇	●	※ %の値は「あてはまる」「やあてはまる」の合計 ※ データの詳細については別紙（グラフ）参照
2%以上4%未満の上昇	○	
変化割合が±2%未満	→	
2%以上4%未満の減少	△	
4%以上の減少	▲	

1 学校教育全般について（数字は肯定的な意見の割合（%））

質問項目	保護者	児童	考察
①教育目標・教育方針の伝達	96.3 ●	83.7 ▲	・①昨年比+5.5%②+7.1%。コロナ禍が過ぎ、体育館でのPTA行事開催、各種行事参加人数の制限緩和等、伝達や参観の場が増えたことにより学校教育について理解が深まったと考えられる。 ・⑧は児童が昨年比-4.9%。内訳を見ると「判断できない」が昨年比+4.1%であった。4.1%の内訳を見ると6年生は0%で下学年ほど多い傾向にある。判断の基準について補足またはアンケートの文面を分かりやすくする等の対応も検討したい。引続き、楽しく安心な学校生活を送れるよう支援していきたい。
②学校行事等の公開の機会設定	98.9 ●		
③環境美化	93.2 →		
④読書活動	87.8 ○		
⑤いじめのない学校づくり	87.3 →		
⑥保護者への対応	96.8 ○		
⑦児童のきまり遵守	96.3 →		
⑧楽しく安心な学校生活	90.0 ○		

2 教育目標「やさしい子」の育成について

質問項目	保護者	児童	考察
①あいさつ（家庭・地域）	83.1 →	90.4 ○	・あいさつについて、個人差があるのが現状。強制的にさせるのではなく、自主性を育むことを念頭に置きながら、教師から声かけを継続したい。 ・言葉遣いについて、学級活動や道徳、人権教育を中心に指導しているが、児童の割合が-4.5%であった。学校としては、言語環境の向上や、おたより等で家庭への啓発に努めたい。
②思いやりの心	95.8 ●	87.0 →	
③言葉遣い	73.6 →	83.7 ▲	

3 学校教育目標「考える子」の育成について

質問項目	保護者	児童	考察
①分かりやすい授業	80.4 →	82.9 ○	・①は、昨年の公開研究発表会後も学び合い授業の研究を継続してきた。 ・②の家庭学習については、保護者の割合が増えたものの、保護者と児童の意識に大きな差（24.6%）が見られる。家庭学習の質の向上についてさらに工夫したい。 ・④の個への支援については、学習指導助手等と連携して意識して取り組んできた。朝の学習では、全教員で個別指導に対応している。
②進んで家庭学習	66.1 ●	90.7 ○	
③基礎・基本の徹底への取り組み	76.7 △	94.5 →	
④教師の個への支援	73.5 ●	91.1 ○	

4 学校教育目標「たくましい子」の育成について

質問項目	保護者	児童	考 察
①体力づくり ②生活習慣 （早寝・早起き・朝ごはん等） ③安全教育（交通安全、防災等） ④根気強さ	83.5 ● 88.9 ● 93.7 → 83.6 ○	86.7 ○ 89.7 ○ 91.5 → 84.1 ▲	<p>・①今年度は、運動会・持久走大会等の参観者の人数制限をなくした。また、水泳教室の回数も昨年より増えた。多くの保護者に児童の頑張りや体力向上の過程を確認してもらう機会が増えたと考える。</p> <p>・②生活習慣については、問題を抱えている児童について、職員間で共通理解を図り、児童指導主任、養護教諭・担任、臨床心理士、支援センター職員等が連携して対応してきた。</p> <p>・③安全教育については、問題が起きたときの早めの対応、消防署や警察と連携しての避難訓練等、行ってきた。今後も、根気強く、計画的に取り組みたい。</p> <p>・④根気強さについては、行事や学習・係活動など、児童がめあてをもって取り組み、振り返りをする中で、児童自身が成長や努力点を見いだせるような対応を定着させたい。</p>

5 学校教育目標「ふるさとをおもう子」について（新設）

質問項目	保護者	児童	考 察
①学校教育についての発信 ②学校行事への参加 ③地域の文化財、人財活用 ④地域についての親子の会話 ⑤お世話になった時の感謝の言葉 ⑥地域の方と楽しく学習 ⑦運動会の盆踊りへ楽しく参加	94.7 ○ 96.3 ○ 95.2 ● 91.0 →	77.1 △ 81.2 ● 85.2 ● 85.6 →	<p>・昨年度から加わった学校目標の項目である。地域の方々との活動が少しずつ浸透してきている。保護者は全項目 90 % を超えている。一方で、児童は 90 % に満たない。自主的に地域の学習に取り組み、地域の良さに気づける児童が増えるよう、継続していきたい。</p>

6 家庭生活について

質問項目	保護者	児童	考 察
①家庭生活のルールの有無 （テレビ・ゲーム・遊びの時間等） ②将来の夢等の親子の会話 ③子どもへの生活リズムへの配慮 ④しつけ（挨拶・返事・靴そろえ等） ⑤手つだいの実行	77.3 ● 83.6 ○ 95.7 → 89.9 →	67.4 → 65.5 ○ 74.8 ▲	<p>・①については、保護者と児童の間で認識に差がある。「ノーメディアデー」の設定を毎年実施して意識化を図っている。学習への悪影響が出ている児童も見られるので、個別の指導も大切にしていきたい。</p> <p>・③生活リズム④しつけについては、昨年同様、概ね 9 割の家庭が意識している。</p> <p>・手伝いについては、長期休業中に「にこにこ家族会議」を設定し実践を働きかけてきた。家族の一員としての自覚をもてるような指導をしていきたい。</p>

